

ひょうご企業探訪③

2022 学生が聞く

暮らしの課題を解決

生活協同組合コープこうべの岩山利久組合長(右)を訪ねた武庫川女子大3年の岩崎遥さん=神戸市東灘区住吉本町1

組合員約173万人と、日本最大規模を誇る生活協同組合。宅配と店舗を事業の2本柱とし、福祉や環境保全といった社会活動にも組合員とともに取り組んでいる。

武庫川女子大生活環境学部の平井拓己准教授のゼミ生が、岩山利久組合長(60)を訪ねた。

「昨年、創立100年を迎えた。

「第1次世界大戦後の不況下、『適正な価格で品質の良いものを手に入れた』という消費者の切実な願いを実現しようと、社会運動家の賀川豊彦の指導で誕生した」二つの購買組合が前身です。お互いさまの精神で、暮らしの課題にも向き合う組織として、事業で収益を得ながら規模を大きくしてきました

のようになります。

舗に連れ出すと、買い物で

連携も模索しています

リ』の試行など、福祉との

「地域や暮らしの課題解

く暮らしの課題には、ど

にこもりがちな高齢者を店

「例えれば、無料送迎車『買

元気になり、交流も生まれ

ます。地元企業の協賛も得

決に向かい、挑戦する意

思で、暮らしの課題にも向

き合う組織として、事業で

運転免許の返納などで自宅

「『多世代交流』です。

欲や向上心を絶やさず頑張つてくれる人です」

メモ 事業エリアは兵庫県内と大阪府北部、京都府の一部。2022年3月期の供給高(売上高)は約2471億円、職員数は9632人。23年春の採用予定者数は60人。☎078・856・1080



生活協同組合コープこうべ(神戸市東灘区) 岩山利久組合長(60)



高齢者を店舗まで送迎する「買い物もん行こカー」(コープこうべ提供)

合いやボランティア活動を促し、命を守ることにもつながります。今まででは店舗や、宅配の協同購入がその機会を提供していました。暮らしの多様化で、交流の形を考え直す必要があり、店舗以外にも拠点を増やすうとしています。コープだからできることに原資を投入し、社会課題の解決でリーダーシップを果たしたいと考えます

と求める人材は。

「地域や暮らしの課題解

く暮らしの課題には、ど

にこもりがちな高齢者を店

「例えれば、無料送迎車『買

元気になり、交流も生まれ

ます。地元企業の協賛も得

決に向かい、挑戦する意

思で、暮らしの課題にも向

き合う組織として、事業で

運転免許の返納などで自宅

「『多世代交流』です。

欲や向上心を絶やさず頑張つてくれる人です」

(まとめ・広岡磨璃)